

インタビュー

2000年の事業移管からこの3月でちょうど10年となります。移管以降も単一労働組合の道を選択したわが組合にとって、この10年の歩みはとても厳しい道のりでした。公務員労働者に対する意図的な世論操作による批判や組合活動に対する締め付け、退職不補充による定数削減、ありとあらゆる手法による合理化攻撃等、こういった厳しい情勢下に反撃するための体制整備は、わが組合にとって極めて重要な課題です。

昨年2009年9月29日の第78回定期大会以降、新書記長となった染書記長に当面する課題と決意について話していただきました。



【教宣部長】よろしくお願 会以降、東京清掃の書記長を先頭に中央執行部一丸といたします。早速ですが、公に就かれたわけですが、決なって奮闘する決意です。引き続き、職場からの叱咤激励や協力をお願いしなす。清掃事業の区移管からちょうど10年、【書記長】よろしくお願 4月からは11年目を迎えます。書記長という重責を担うことになり、責任の重さを身が引き締まる思いです。西川中央執行委員長

【書記長】2007年9月 社会全体を覆う閉塞感や新自由主義への疑問が政権交代という形で民意が表れたのだと思います。労働運動にとっても冬の時代が続きました。これからどうい う時代を迎えるのか、まだまだ不透明ですが、反転攻勢のこの好機を確実に活かさなければならぬと思ひますし、東京清掃も幅広く社会的な運動の一翼を担う覚悟が必要でしょう。

【書記長】 2007年9月 移管から10年、単一労組という組織形態を選択して覚悟の上での船出だったわけですが、旧政権が進めた

【書記長】 2007年9月 第76回定期大会で『組織財政方針』が確認されました。組合活動への不当な締め付けを始めとする困難な情勢に対応するための方針として確立されたものです。機関会議のあり方、諮問機関や地連のあり方について方針として確立し、引き続き検討し結論を得る課題についても整理をしました。しかし、大会以降の点検や引き続きの議論が不十分だったという反省もあります。言い訳めいて聞かえ

【書記長】 2007年9月 職場からの要望や期待に 本部としてどう応えるのか、そのための体制をどう整えるのかといったことが問われていると思います。まだまだ議論の途中です。今後具体的な方針として提起をし、その後、職場討議をお願いすることになります。是非、職場からも率直な意見を出していただければと思います。

【書記長】 1月28日、2月18日の中央執行委員会は、無給職免を取得して一日かけた機関運営を行いました。1月は午前中に学習会を設定して自治労中央本部

【書記長】 冒頭、政権交代の話を話しましたが、日本の労働組合にとっても大きな「転換のとき」です。東京清掃も世の中の「転換」に乗り遅れることなく、迅速な情報収集を基に適確な運動を提起できるように体制整備していきたいと考えています。

【書記長】 2007年9月 討委員会での議論を再開させました。『(07年)組織財政方針』の実現出来た点や不十分な点を精査し、わが組合に求められる課題を明らかにし、中央執行部全員の共通の認識に立つことかから議論をスタートさせました。09年11月29日30日には合宿中央執行委員会を開催して集中的な議論をしましたし、今年の1月19日には、各地連の役員や一組総支部の役員にお集まりいただき、現在の活動状況や財政状況について報告をいただき、本部に対する要望等について意見交換を行いました。

【書記長】 1月28日、2月18日の中央執行委員会は、無給職免を取得して一日かけた機関運営を行いました。1月は午前中に学習会を設定して自治労中央本部

【書記長】 2007年9月 職場からの要望や期待に 本部としてどう応えるのか、そのための体制をどう整えるのかといったことが問われていると思います。まだまだ議論の途中です。今後具体的な方針として提起をし、その後、職場討議をお願いすることになります。是非、職場からも率直な意見を出していただければと思います。

【書記長】 1月28日、2月18日の中央執行委員会は、無給職免を取得して一日かけた機関運営を行いました。1月は午前中に学習会を設定して自治労中央本部

【書記長】 冒頭、政権交代の話を話しましたが、日本の労働組合にとっても大きな「転換のとき」です。東京清掃も世の中の「転換」に乗り遅れることなく、迅速な情報収集を基に適確な運動を提起できるように体制整備していきたいと考えています。